

かけはし



iiaをサポートする
ボランティアの交流会が
開催されました。
日本語ひろばで学ぶ
外国人も多数参加し、
それぞれの日頃の活動を
発表しました。

この日は一宮市
出身者も所属する
ちんどん屋パフォーマー
「べんてんや」も来場。
大いに盛り上がりました。
(表紙 : you 都市)

平成28年度ボランティア交流会

向山公民館 2.5

今年も総勢130名の参加者を得て、年度末恒例の交流会が盛大に行われました。今回の特別企画は「PRタイム」。参加者の中から希望者を募り、自分たちの活動を他の参加者の前でPRされました。

今年度は「開かれた国際交流協会」をテーマに、日本語ひろばで学ぶ外国人のみなさんや、市内で国際交流などの活動を行う方々も参加。参加者の出身国は中国、ベトナム、フィリピンなどでした。

イベントグループボランティアの進行で、和気あいあいのうちに進んでいき、第一部の昼食タイムでは、**クッキンググループ**が心をこめた各国の料理が並びました。ボルシチ、あさりとチーマ・ディ・ラーパの Pasta、ピーツの葉とキヌアご飯、イタリア野菜サラダなどで、参加者の皆さんは珍しい多国籍料理を夢中で味わっていました。最後はデザートにクグロフをいただき、ごちそうさま！



4月から発足する新グループ、**ファッション138**による「みんなともだちビンゴゲーム」はとてもユニークでした。参加者は会場じゅうを動き回り、ビンゴカードの空マスに、話しかけた相手の名前（ニックネーム）を記入してもらいます。「マロン」「ペコペコ」「じゅくちょう」など、ユニークなものばかりでした。ゲームは賞品ももらえるとあって、司会が読み上げる声と「ビンゴ！」の声で大賑わいでした。

第二部は「べんてんや」によるスペシャルステージ。べんてんやは2015年に地元萩原商店街で開催された「全国選抜チンドンコンクール」で優勝し、海外でも多数の公演実績がある、世界にはばたくちンドン屋さんです。カラフルなウィッグと着物、鳴り物入りでパフォーマンスを披露していただきました。

そして第三部は特別企画「PRタイム」。べんてんやのみなさんが司会を務め、にぎやかしながら各出演団体を紹介してくれました。



今回PRに名乗りを上げた団体は、この方々たちです。

寺子屋いちみん：

「寺子屋いちみん」ってこんな活動!!

一宮と世界をむすぶネットワーク：

一宮と世界をむすぶ

138ラン友倶楽部：

走るために国境は要らない、走るだけで友達になれる

タマキ日中ビジネスコンサルティング：

多文化共同生活について

ヒッポファミリークラブ：

目からウロコの多言語ライフ

花柳流こま希久会：

日本舞踊の披露

日本語ひろばいちのみや：

楽しい日本語ひろばで世界は一つになれる



それぞれのグループは発表の方法も趣向を凝らし、すてきなトークでした。日頃の活動が目の前に浮かぶようでした。（文：小川、写真：雲谷齋）



外国語 えほん よみきかせ

中央図書館おはなしのへや 12.4

たくさんのお友だちが「よみきかせ」を楽しみに集まって来ました。12月はクリスマスのお話が二つ。今回の読み手、小島真希さんの優しく、軽快な口調に、英語で話されていることなどまったく気にせず、目をキラキラ輝かせノリノリの子どもたち。イタリアとニュージーランドのクリスマスの過ごし方を交流員のアレッサンドラとロザンナが、クイズも交えて話しました。最後は、クリスマスソングに合わせた手遊びで大喜びでした。「子どもたちに多様性を伝えたい!」「仕事で英語を使う毎日。子どもたちにも触れてほしい!」そんな思いのパパ、ママにも満足のひとつときでした。



読み手の小島さん



国際交流 ふれあいうんどうかい in いちのみや

総合体育館 1.29

毎年恒例となったソフトバレーボール大会が木曾川文化・スポーツクラブの協力のもと開催されました。海外の方53名を含む、総勢129名の参加でした。準備体操とルールの説明がされた後、



18チームに分かれて、やわらかいボールをつかってトスやパスの練習をはじめました。静かな雰囲気でしたが、

しだいに「オーライ」とか「オーケイ」と声がかでできました。低学年の小学生から大人の男性と女性を含めたチームで試合が始まりました。

レシーブでボールが横に飛んでしまっても「ドンマイ」「もう一本」とか、お互いのチームの応援や笑い声が飛びかいます。ベトナムのユン君は、「初めてだけど楽しい」と、ゆかいなハ

ッスルプレーをしていました。試合結果は、ベトナムの男性2人のすばらしいコンビネーションとチームワークがよかったタートルズが優勝しました。試合後の片づけと掃除のときに見た、



木曾川クラブのちびっこが横一線に並んでの雑巾がけには、施設を大切にする気持ちが伝わってきて感心させられました。表彰式のあとの懇



親会では、プレーの話で大盛り上がりでした。(akeharu)

友好都市を満喫してきました

市役所本庁舎会議室 1.13

一宮市の2つの市民グループが「友好都市交流推進事業費補助金」制度を活用して昨年秋にイタリア・トレビエゾ市を訪問し、その帰国報告会が行われました。

報告に先立ち、トレビエゾ出身の国際交流員アレックスサンドラさんがスライドでトレビエゾを紹介。よく知られる“ティラミス”は、60年代に同市の女性アダ・カンパオールさんが考案したことや、人口約8万人で一宮市と似ている静かな街だと紹介されました。



最初は、イタリア語自主学习グループ「イタリアーノ尾西」の細川時夫さん、田中龍一さんら4名の報告。グループ発足時に一宮市の国際交流員だったリーザさんを訪ねて、トレビエゾ市への訪問旅を計画。途中、電車の切符がカードでうまく買えずに困ったり、道を一本間違えて1時間ほど町を迷ったりしたそうです。それが親切な地元の人たちと交流するきっかけになり、よい経験になったそうです。

やっとのことでリーザさんと会え、久しぶりの再会をご家族と家庭料理で歓待してもらい、旧交を温めるひと時を楽しみました。



日本語学校では、生徒さんといっしょに連鶴を折ったり、習字やゆかたの着付けを行ったりと、盛りだくさんな交流が大変人気で喜んでもらったそうです。トレビエゾ市庁舎では記念のサインもでき、とても思い出深い交流ができたことと報告されました。

2つ目のグループ「イタリアセミナー&交流クッキング」のみなさん5名を代表して日野好江さんが報告。日本の麺文化をトレビエゾ市の方々に伝えることで交流をはかりたいと、現地の方々と手打ちうどんの試作を行いました。ところが麺棒がなくて瓶を代用してちょっと面喰ったり。ちらし寿司の錦糸卵はみなさんにとっても珍しがられたそうです。



滞在最終日は街を散歩。日本ではあまり見られないチーズ屋さんで試食させてもらったり、ドライブフルーツ&ナッツの店をのぞいたり。途中で写真を一緒に撮らせてもらった方が、トレビエゾ発祥の世界的なレース用自転車メーカー「ピナレロ」の社長さんだったことが分かってびっくりしたり。とてもたのしく、おいしい交流となったと報告されました。(ドリアン)



友好都市交流が進んでいます

一宮市とイタリア共和国トレビエゾ市は、2013年1月に友好都市提携を結びました。友好都市となって4年。両市民の交流は少しずつ、確実に進展しています。



柔道練習生がやってきた!

大和公民館 家事实習室 12.22

「それでは始めましょう!」司会の合図で楽しい料理会が始まりました。

この日の参加者は全部で24名。新築移転されたばかりで、調理室も厨房機器もすべてピカピカの大和公民館に集まったのは、国際交流協会のクッキング班、通訳翻訳グループ、ホームステイグループ所属のボランティア、および「友好都市交流推進事業費補助金」交付団体の皆さんでした。



この日は、トレビエゾから一宮を訪問し、市内の柔道強豪校・大成中学高等学校で約1ヶ月柔道の練習に取り組んでいる、アレックスサンドラさんとジョルジャさんを招待して、一緒に日本料理をつくって楽しく交流する会が催されました。一宮市に住むイタリア人男性2名も通訳として参加してくれました。

この日のメニューは、炊き込みご飯、味噌汁、

だし巻き玉子、鶏のから揚げ、一口かつにフルーツ寒天もついて、大変豪華なものでした。

「日本の食事とイタリアの食事のどちらが柔道に適していますか」の質問に、練習生は「日本の料理の繊細な味付けなど、料理に対する考え方が柔道の良い参考にもなります」と回答。アレックスサンドラさんは70kg級、ジョルジャさんは78kg級で、二人とも東京オリンピックを目指しているとのこと。大成高校では、朝の自主トレーニングに2時間、その後の合同トレーニングが4時間と結構ハードな練習をやっているようです。



食事が終わり、みんなで片付けた後もしばらく交流は続きました。参加者の中に書道の師範がいて、二人のゲストに記念品の掛け軸がプレゼントされました。

冬至の翌日で雨の空模様でしたが、国際交流の明るい笑い声が続いた一日でした。(荒楠)

別の日には、イタリアの小学校と絵手紙交換を行う今伊勢西小学校を訪問し、両国の遊びの体験を通じて児童と交流したほか、ホストファミリーボランティア家庭でホームステイもしました。

国際交流アートトレッキング

～ピノッキオをさがそう!～

犬山市桃太郎神社周辺 10.23

ピノッキオはみなさんお馴染みのカルロ・コロディの書いた童話『ピノッキオの冒険』の主人公。ゼペット爺さんが意思を持った木の丸太から作った人形ですよね。今日はそのピノッキオを探しにイベントに参加してくれた親子、スタッフ、ボランティア総勢25名でバスに乗り込み、まずは犬山の桃太郎神社に移動。ここで先に行って準備をしていていたイタリア人アレサンドロさん（アレさん）ご夫妻や国際交流員のアレサンドラさんと合流して、簡単なお話のあと、鳩吹山せせらぎルート



の散策に出発しました。目的はピノッキオの手足になりそうな木の枝などを拾ってくることでした。途中2回ほど飛び石伝

いに沢を渡ったり橋を渡ったりしながら材料拾いに精を出しました。時間になったので途中から同じコースを引き返して桃太郎神社の前の河原、ここは芝生が植えてあってテントも張れるような場所

でしたが、スタッフの皆さんが用意してくれたシートをめいめい木陰などに広げて、お弁当をいただきました。

さて、昼食が済んだら本日の目的であるピノッキオ作りです。“みんな！ピノッキオ（の材料）はさがせたかな？” 頭部と胴体部分、足先はあ



らかじめアレさんに用意していただき、腕や脚の部分は散策途中に拾ってきた小枝を使います。各パーツをつなぐのは動く部分は麻ひも、固定する頭と首と胴体や足の付け根などはドリルで穴を開けて接着剤でくっ付けるというものでした。穴を開けるためのドリルは3台持ってきていただいた

のですが、2台はすぐに電池がなくなり1台でフル回転、穴あけは順番待ちとなりました。それに



に加え材料の木が堅く（ケヤキかな？）時間がかかりアレさんは大忙し。

それでも皆さんはとっても楽しそうにピノッキオ作りに頑張っていました。あれ？子どもさんよりお父さんたちの方が頑張っているご家族もいらっ

しゃいますね。結局時間をオーバーして終了。みなさんのピノッキオを並べて記念撮影。おやおやよく見るとピノッキオ以外にもいませんか？

盛りだくさんの内容に、帰りのバスの中では皆さん少々お疲れ気味のご様子で、ぐっすり眠る姿も見られました。（雲谷齋）



wai-wai-a フォトサロン

iaでは市内4ヶ所で無料日本語教室を実施しており、毎年12月にはそれぞれの教室で楽しいパーティーが開催されています。

日本語ひろばジュニア・寺子屋いちみん クリスマス会(ききょう会館) 12.10

毎年恒例のクリスマスパーティー。昼食にはクッキング班ボランティアも協力し、おいしい料理でお腹いっぱい。いつもの学習時とはまた違った笑顔がいっぱい。



日本語ひろばいちのみや ポットラックパーティー(向山公民館) 12.11



パン食い競走、風船割り、ゲストによる歌と演奏、ビンゴ、ジェンカ(フォークダンス)と、笑い声が絶えない一日でした。



クッキング班ボランティアと日本語ひろばが協力して昼食づくり。

日本語ひろばびさい お楽しみ会(三条つどの里) 12.18



昼食は学習者とボランティアと一緒に作りました。とってもおいしかったですよ！



日本の伝統的な遊び、かるた取りに挑戦。

歌を歌ったり、いす取りゲーム、手品ショー、ビンゴゲームなどで盛り上がりました。

(佐野)



どの教室でも、学習者・ボランティアとも随時募集しています。日本語を学びたい方、外国人に日本語を教える活動に興味のある方は、お気軽にia事務局までお問い合わせください。



おとなりさん



ご紹介するのは、一宮で英会話講師として働くアタハル・スエッドアルさん。バングラデシュ出身で、同国出身の奥さん、小学3年生の息子さんと、名古屋に住んでいます。11年以上住んでいて、東京から福岡まで様々な都市を訪れたことがあり、何よりも、I love Japan! とのこと。

以前は、バングラデシュの首都にあるダッカ大学の日本研究センターで仕事をしていて、その功績から外務省に招待され、2000年に初来日しました。そして2005年に名古屋大学に入学。橋や空港などの建設における、政府による居住者の転居の支援や、経済の活性化など、環境マネジメントについて研究していて、博士号取得後は、大学講師になることを目標にしています。

趣味は料理・読書・クリケットなど。スパイスを使ったカレー料理が得意です。アタハルさんいわく、カレーを世界一食べているのはバングラデシュだそうです。

一宮について感じていることは、成長してきている都市で、国際色も豊か。また、ハラルの肉がどこでも買えるので、イスラム教徒のアタハルさんには住みやすく感じるそうです。(イスラム教

では、豚肉などを食べることを禁止されており、イスラム法上で許された食材や料理をハラルと言います。)



一方で、日本人の考え方に少し困惑しています。日本で生まれた息子さんは、生まれも言葉も日本人と同じですが、周りの人たちには外国人という認識が強く、日本人のコミュニティに入る難しさを感じています。

アタハルさんは子ども達に英語を教えるのが大好きで、仕事に情熱を燃やしています。ただ単に英語だけでなく、文化や想いなど、内側にあるものを教えるようにしています。子どものうちに異文化に触れる経験は大事!と熱く語ってくれました。

(大野)

iia information

*協会事業を支える国際交流基金への寄付を募集しています。詳しくはiia事務局までお問い合わせください。

きっとあなたも輝ける! JICAボランティア体験談&説明会

JICAボランティアから現地での体験談を聞き、活動や途上国の様子について知りましょう!
(事前申込み不要、参加無料)

日時: 4月2日(日) 午後2時~午後4時
会場: iビル6階 中央図書館 多目的室1

プレイベント: 世界できらきら輝くJICAボランティア写真展

◆本庁舎会場
期間: 3月2日(木)~4月4日(火)
会場: 一宮市役所本庁舎1階 資料コーナー

◆図書館会場
期間: 3月23日(木)~4月4日(火)
会場: iビル6階 中央図書館 多目的室2

友好都市提携5周年記念事業: イタリア文化と初級イタリア語講座

友好都市トレビゾ出身の国際交流員が歴史や文化を紹介しながら、イタリア語を基礎から教えます!

日時: 5月9日~7月11日の毎週火曜日
午後7時~午後8時30分(全10回)
会場: ききょう会館3階 第1講習室
講師: 国際交流員グリッロ・アレッサンドラ
受講料: 5,000円(教材費を含む)
申込み: 4月20日(木)までにiia事務局まで

iia Facebookページ

イベントのお知らせや、外国人のみなさんに役立つ情報を多言語で発信しています。



multilingual posts about event notices and helpful information for foreign residents.

2015年8月から1年間、スイスのWohlen（ヴォーレン）で障がい者の生活支援ボランティアをしてきました。

虹の架け橋

あべひろゆき
阿部 寛之

僕が参加したボランティア団体ICYE (International Cultural Youth Exchange) は世界40カ国に支部やパートナーがあって、自分が行きたい国に行くことができます。スイスには、他にアメリカ、メキシコ、インド、台湾・・・さまざまな国から来ていました。日本人は、僕一人。

さらに、スイスではエリアごとにドイツ語、フランス語、イタリア語、ロマンシュ語が話されています。僕のボランティア先はドイツ語でしたが、ドイツ語はもちろん、英語すら僕は話せません。毎日言葉の壁にぶつかりました。



ある日、利用者が発作を起こしてしまい、自分が第一発見者になった日がありました。はじめは「助けて！」と大声で言うことができずでした。そんな無力な自分が嫌で、ドイツ語を覚えるためにいろいろ挑戦してみました。まず積極的にスタッフとかかわりました。そして出勤中は、知らない人にでも声

をかけてみたり、教会に行ってお祈りの方とコミュニケーションを取ってみました。はじめてヒッチハイクもしてみました。

そのおかげで、はじめは掃除しかやらせてもらえなかった仕事も、言葉を覚えて信頼関係を築けると、食事介助や、入浴介助もさせてもらえるようになりました。

僕にとって言葉を覚えるということは、単にコミュニケーションのための手段としてではなく、利用者さんの生活の一部を支えることにもつながりました。

今回のボランティアを通して、改めて言葉の持つ力を感じました。

最後に、スイスは物価が高い。卵1個が約80円！だから、国境に近い人は基本、ユーロに替えて買い物をします。そして、やっぱり乳製品が豊富。牛乳、チーズ、ヨーグルトは毎日食べたし、チーズの炭酸ジュース「rivella」めっちゃおいしいです。

皆さんもぜひスイスに行ってみてください。



編集後記

去年から世界中の指導者の「傲慢さ」が目立ってきましたね。

国際交流の立場からすれば、みんながもっと「謙虚」になって相手を思いやってくれれば、何事も穏やかに解決していくと思うのですが。

そこで今年の年末の漢字（なんとも早すぎますが）には「傲」でなく「謙」が選ばれるような、そんな1年になってほしいものです。（橋本）

発行 一宮市国際交流協会 (〒491-8501 一宮市本町2-5-6 一宮市生涯学習課内)

ご意見・ご感想お待ちしております 【TEL:0586-85-7076 E-mail:kokusai@city.ichinomiya.lg.jp】

当協会に関する情報はウェブサイト・Facebookページもご覧ください

【WEB:<http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/iia/> Facebook:<https://www.facebook.com/iia138>】

*この「かけはし」は、協会ボランティアにより取材・編集されています。

みなさんも国際交流協会親善ボランティアに参加しませんか？お気軽にお問い合わせください。